

東北公益文科大学 課題挑戦型インターンシップ

チームK 斎藤勇汰、工藤秀斗、相馬壮

課題提示機関

社会福祉法人酒田市社会福祉協議会

課題内容

「ふくし出前講座改善や新たな取り組みの提案」



改善か取り組みの提案のどちらかに取り組みむことに

社会福祉法人酒田市社会福祉協議会とは

- 社会福祉活動の推進を目的とした**非営利な民間組織**
- 略して、**酒田市社協（さかたししゃきょう）**
- 昭和 27 年に設立、昭和45年に**社会福祉法人認可**
社会福祉協議会とは
 - 全国社会福祉協議会の他、全ての都道府県、**市区町村 1つずつ組織**
 - 地域住民、福祉活動をすすめる者（民生委員、行政、社会福祉法人等）が協力し、福祉サービスを必要とする地域住民の生活の支援と社会参加等が図られるよう、**地域福祉を推進することを目的**としている
 - 住民が抱えているさまざまな生活上の諸問題を地域全体の問題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図る「**福祉のまちづくり**」を目指して活動



社会福祉法人とは

- 社会福祉事業を行うことを目的として社会福祉法にもとづいて設立されている法人
- 公益性の高い、非営利法人で、**社会福祉事業**の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ公正に行っている
- 酒田市内には、事業所や施設を運営する社会福祉法人は酒田市社協を含め、**28法人**

社会福祉事業とは

- 社会福祉事業は、**第1種社会福祉事業**と**第2種社会福祉事業**に分類

- 高齢者、子ども、障がい者、生活困窮者など、さまざまな生活課題や福祉ニーズをもつ方がたの生活を支える**施設や事業所を運営**

- 第1種社会福祉事業**

障害者支援施設、宿所提供施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム 等

- 第2種社会福祉事業**

障害福祉サービス事業、保育所、認定こども園、老人デイサービス事業、老人短期入所事業 等

(参考) 酒田市内に施設・事業所を有する社会福祉法人

No	名称	事務所(法人本部)所在地	主な事業内容(一部、市外含む)	所轄庁
1	酒田報恩会	酒田市北今町2-5	1.自彊舎(2) 2.酒田報恩会保育園,若浜保育園(2) 3.簡易住宅(2)	酒田市
2	幾久栄会	酒田市小泉前田50	1.特養 幸楽荘(1) 2.D.S.C 幸楽荘(2) 3.老人GH こうらく(2)	酒田市
3	光風会	酒田市宮野浦3-20-1	1.特養 芙蓉荘(1) 2.障害者支援施設 光風学園(1) 3.障がいたふの木,三ツ葉(2) 4.D.S.C たんぽぽ(2) 5.老人GH はまゆう(2) 6.障がいGH 三ツ葉荘(2) 7.老健 シェ・モワ	酒田市
4	平田厚生会	酒田市檜橋大柳3-1	1.特養 寿康園(1) 2.D.S.C みすみ(2)	酒田市
5	友和会	酒田市曙町2-26-1	1.特養 サン・シティ,サン・シティⅡ(1) 2.ケアハウス サンハイツ酒田(1) 3.D.S.C サン・シティ(2)	酒田市
6	さくら福祉会	酒田市中牧田丸福171	1.特養 さくらホーム,さくらホーム広野(1) 2.D.S.C 介護予防センターさくら広野,介護予防センターさくら東泉,介護予防センターさくら,さくらつどいの家北平田(2) 3.老人GH みどり,かほく,まつやま,みかわ,北山形,村山(2)	山形県
7	正覚会	酒田市黒森字葎葉山54-10	1.特養 ライフケア黒森(1) 2.D.S.C ライフケア黒森,北のかがやき(2)	酒田市
8	かたばみ会	酒田市北千日堂前松境18-1	1.特養 かたばみ荘(1) 2.D.S.C かたばみ荘(2) 3.養護 かたばみの家(1)	酒田市
9	本楯たちばな会	酒田市豊原字大坪37	1.ケアハウス ふるさと(1)	酒田市
10	庄内福祉会	酒田市宮海字林内23	1.D.S.C ほづみ(2)	酒田市
11	酒田福祉会	酒田市駅東2-3-6	1.D.S.C 明日葉(2)	酒田市
12	山形県社会福祉事業団	山形市緑町1-9-30	1.救護施設 みやま荘,泉荘(1) 2.養護老人ホーム 明鏡荘(1) 3.特養 松涛荘,寿泉荘,福寿荘,大寿荘(1) 4.障害者支援施設 梓園,鶴峰園,吹浦荘,慈丘園,総合コロニー 希望が丘(1) 5.障がい ワークショップ 明星園,希望が丘デイサポートまつかぜ,つるおか(2) 6.障がいGH(2)	山形県

13	親和会	鶴岡市朝陽町4-10	1.障がい やまびこ、さごし、しんわかい(2) 2.障がいGH(2)	山形県
14	明松会	酒田市相沢字北森155	1.障害者支援施設 和光園(1) 2.障がい いっぽ(2) 3.障がいGH(2)	酒田市
15	酒田市あすなろ福祉会	酒田市緑町14-16	1.障がい あすなろ(2)	酒田市
16	南遊佐協会	酒田市米嶋字棘田48-2	1.鳥海保育園(2)	酒田市
17	東平田福祉会	酒田市関字向126-2	1.特養 あずま(1) 2.D.S.C あずま(2) 3.東平田保育園(2)	酒田市
18	十坂協会	酒田市十里塚字村東山112-2	1.十坂こども園(2)	酒田市
19	北平田協会	酒田市漆曾根字千刈10-2	1.北平田保育園(2)	酒田市
20	あすなろ会	酒田市上野曾根字郷野目端30	1.うえだこども園(2)	酒田市
21	小鳩協会	酒田市千石町1-5-40	1.小鳩保育園,亀ヶ崎保育園(2)	酒田市
22	中平田協会	酒田市熊手島字道の上熊興屋35	1.中平田保育園(2)	酒田市
23	双葉協会	酒田市東泉町4-6-1	1.泉保育園,北新橋保育園(2)	酒田市
24	西荒瀬協会	酒田市宮海字新林661	1.西荒瀬保育園(2)	酒田市
25	こどもの森協会	酒田市あきほ町661-9	1.認定こども園木の実こども園(2)	酒田市
26	酒田保育協会	酒田市広野字中通40-3	1.こども園広野保育園,新堀保育園,浜中保育園,黒森保育園,宮野浦保育園,若宮保育園(2)	酒田市
27	のどか	東田川郡三川町大字猪子大堰端333	1.いのこ保育園(2) 2.あづまこども園(2)	山形県
28	酒田市社会福祉協議会	酒田市新橋2-1-19	2.D.S.C いずみ, 松山(2)	酒田市

社会福祉法人の「地域における公益的な取組」とは

- ▶ ●平成28年社会福祉法改正において規定が創設
- ▶ ●社会福祉法第24条第2項に規定
- ▶ ●社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、
- ▶ 本来の役割を明確化することが目的

社会福祉法（昭和26年法律第45号）

第24条

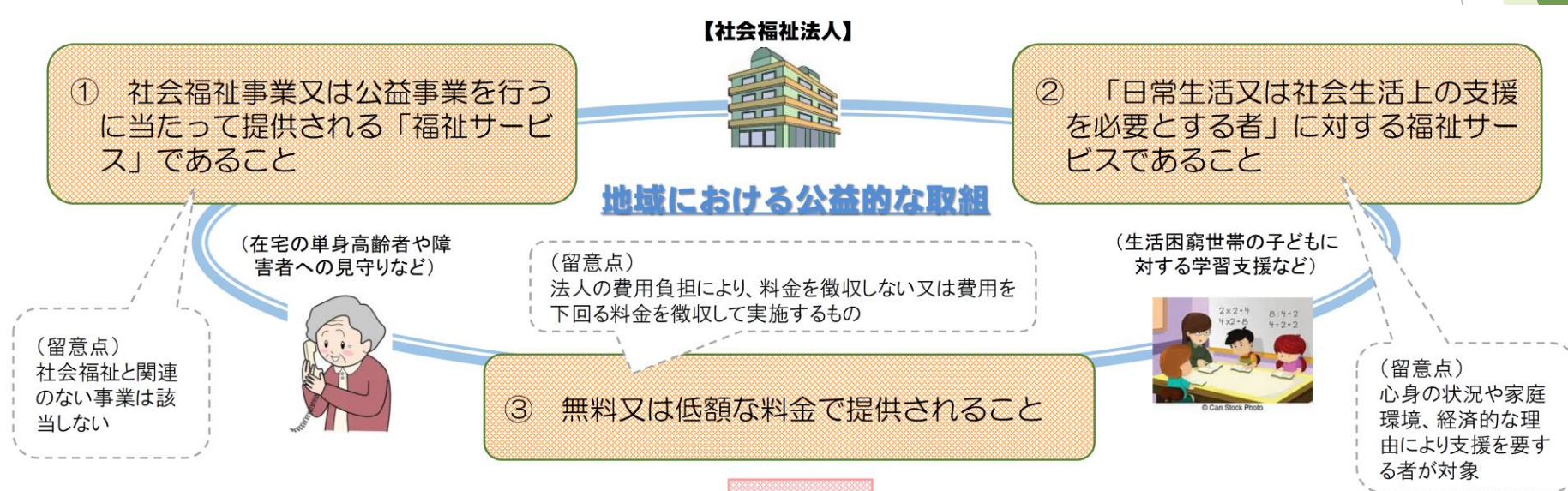
2 社会福祉法人は、社会福祉事業及び第二十六条第一項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない。

●社会福祉法人の責務として法律上明記
＝「地域における公益的な取組」の責務化

地域における公益的な取組」の3つの要件

- ▶ ① 社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される「福祉サービス」であること
- ▶ ② 「日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者」に対する福祉サービスであること
- ▶ ③ 無料又は低額な料金で提供されること

厚生労働省ホームページより

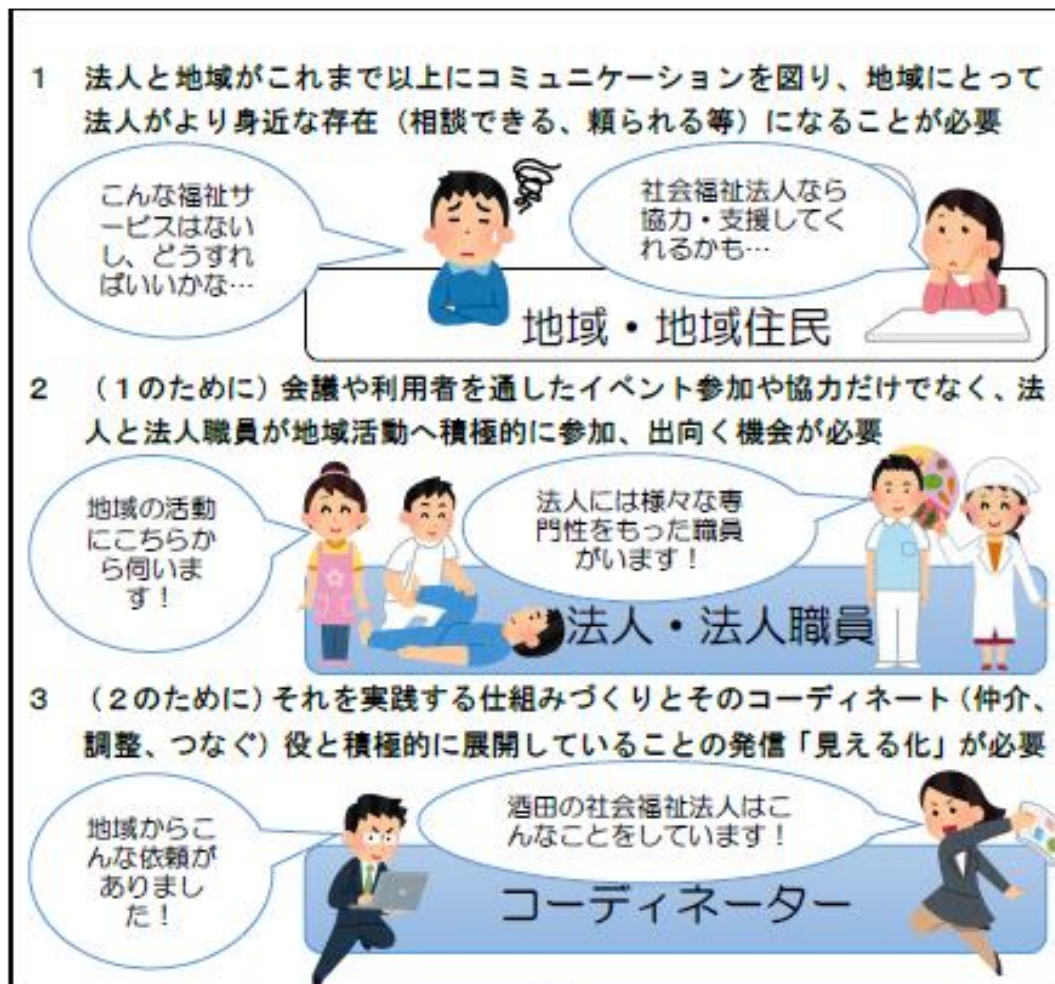


○ 社会福祉法人の地域社会への貢献

⇒ 各法人が創意工夫をこらした多様な「地域における公益的な取組」を推進

地域において、少子高齢化・人口減少などを踏まえた福祉ニーズに対応するサービスが充実

市社協から市内社会福祉法人への提案



▶ 市内の社会福祉法人で協力して、福祉に関する出前講座を行いませんか？



ふくし出前講座・福祉共育出前講座の実施



現在のふくし出前講座の現状

- ・ 令和2年6月より開始
- ・ 参加法人 **10** 法人
 - 幾久栄会
 - 光風会
 - 平田厚生会
 - 友和会
 - さくら福祉会
 - 正覚会
 - かたばみ会
 - 山形県社会福祉事業団
 - 明松会
 - 酒田市社会福祉協議会
- ・ 講座テーマ数 **23** 講座
- ・ 令和2年度はのべ **18** 講座を実施

ふくし福祉のこと、
しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人のこと、
もっとほ
知って欲しいから。

酒田市社会福祉法人
でまえこうざ
ふくし出前講座・
ともいくでまえこうざ
ふくし共育出前講座

◎社会福祉法人は、社会福祉事業を行うことを目的として

ふくし出前講座・ふくし共育出前講座一覧 ▼表の見方

題名	講座名	講師派遣社会福祉法人名
講座の内容		
講師職種	主な対象	
所用時間(目安)	備考	
1	介護予防でいつまでも元気に！！	幾久栄会
脳トレ(体操・なぞなぞ・各種ゲーム)や体を動かす体操(タオル・棒)など実際に体を動かすもの。または制度や制度外(食事や栄養素等)の知識を伝達するものなど幅広く“介護予防”に関わる講座を行います。		
社会福祉士、介護支援専門員、保健師、管理栄養士	制限なし	
(要望に合わせて)	対象者や時間等、要望に合わせて対応できます。	
2	認知症を知ろう！！	幾久栄会
認知症について説明します。認知症サポーター講座も可能です。		
社会福祉士、介護支援専門員、保健師	制限なし	
60分程度		
3	介護食ってなーに？	光風会
管理栄養士が介護食を紹介します。また試食をしていただきながら、介護食とはどんなものか学んでいただきます。		
管理栄養士	制限なし	
30分程度		
4	認知症を予防し、地域でいきいきと生活しましょう	光風会
～認知症について正しく理解し、温かく見守る応援者になろう～		
作業療法士(OT)、社会福祉士	制限なし	
60分程度		
5	認知症サポーター養成講座	友和会
認知症の人との具体的な接し方や基礎知識などについて説明し、認知症サポーターを養成する講座です。		
主任介護支援専門員、介護福祉士、看護師、社会福祉士	制限なし	
60分程度	プロジェクターを使用します	
6	権利擁護・高齢者虐待防止講座	友和会
権利を守り住み慣れた地域で自分らしい生活を送るための制度や事業の紹介、高齢者虐待の種類・対応方法など、虐待防止の基礎知識を説明します。内容によっては寸劇なども交えた講座となります。		
主任介護支援専門員、介護福祉士、看護師、社会福祉士	制限なし	
60分程度	プロジェクターを使用する場合があります	
7	介護保険で利用できる福祉施設について	さくら福祉会
様々な種類の福祉サービスが介護保険で利用できます。その中で特別養護老人ホーム、グループホーム、デイサービス、小規模多機能型居宅介護施設について、利用の仕方やサービス内容等をご説明いたします。		
介護支援専門員、生活相談員	制限なし	
60分程度		

◎お問い合わせ、
酒田市社会福祉法
(社会福祉法人酒田市
TEL 0234-23-5765 E-mail shakyo@sakata-shakyo.or.jp

課題内容

「ふくし出前講座改善や新たな取り組みの提案」



改善か取り組みの提案のどちらかに取り組むことに

メンバーで話し合い、この課題に対応するために、ふくし出前講座の改善案を考えることにしました。

課題の問題点について

- ・参加している法人が少ない

→現在参加している法人に負担がかかる、そのため市内にある法人が参加しやすい講座を新しく考える必要がある。

- ・保育関係の講座がない

→保育関係の事業所は子供から目を離すことができない、人手が足りないなどの問題から参加することは難しい。受講者として参加してもらい、ふくし出前講座について知ってもらう必要がある。

- ・コロナ下での安全対策が難しい

→実技、寸劇等を交えるなど実際に体験する講座が多い以上、zoomなどを利用したオンラインでの開催は難しい。どのような開催形体にするか、zoomなどの使い方を教える講座を考える必要がある。

ふくし出前講座改善案

高齢者を守る！福祉施設から学ぶコロナウイルス対策

内容

- ・概要...自宅で介護をする人や自分自身でコロナウイルス対策をしたいという人を対象に、コロナ禍の中で福祉施設を運営する福祉従事者から感染対策や注意事項を学ぶ。
- ・主な対象者...高齢者を介護する人、自宅でコロナウイルス対策をしたい人
- ・講座内容の例...福祉施設で行われている感染対策についての講義、自宅で始められる感染対策のプランを立てる
- ・講師をお願いしたい職業...介護施設の職員の方、介護士

メリット

- ・コロナウイルス対策の講座ということで、普段ニュースや新聞などから情報を得ている一般の方々にも、福祉の視点からのコロナ対策を伝えることができる。(法人側のメリット)
- ・福祉施設の安全対策を聞くことで、ニュース等と合わせよりよい対策を考えることができる。(受講者のメリット)
- ・問題点の1つである参加法人が少ないという点に対し、お願いしたい法人は問わない内容のため、この問題を解決できる。

障がい者への思いやりを持とう～障がい者疑似体験を通して～

内容

- ・概要...視覚障害、聴覚障害、車いすなど、身体障がい者の状態で街中を歩き、その中で、日常に潜む障がい者にとってのリスクを探す。

- ・主な対象者...制限は特になし、だれでも参加できます

- ・講座内容の例...アイマスク装着による疑似視覚障害の体験、耳栓装着による疑似聴覚障害の体験、車いす搭乗による移動の体験、これらの体験によってわかるリスクとなりうる場所の発見

- ・講師をお願いしたい職業

障害者に関する事業を展開している法人の職員の方

メリット

- ・身体障害者に限ってしまうが、高齢者体験と似て実際に障がい者のことを体験することによって、身体障害者の理解が進む。(法人・受講者ともにメリット)

- ・理解が進むことで、こういった困っている場面に遭遇した際に手助けをすることができる。(受講者のメリット)

気を付けること

- ・外に出て体験を行うため、コロナ対策を厳しくする必要がある。

- ・受講者が多いと道をふさいでしまうことになってしまう。

インターネットを扱えるようになるろう！

内容

- ・ 概要...三密を避けてのつながりを持てるよう、オンライン会議を始めとしたネットの基本的な使い方を学ぶ。
- ・ 主な対象者...高齢者
- ・ 講座内容の例...インターネットに触れる、zoom等のオンライン会議ができるアプリケーションの使い方を学ぶ
- ・ 講師をお願いしたい職業...高齢者に関する事業を展開している法人、パソコンやスマホなどに詳しい方

メリット

- ・ オンライン会議のやり方を覚えてもらうことで、実際に会わずともやりとりが可能となり、人の出入りを抑え、感染リスクを減らすことができる。(法人のメリット)
- ・ 実際に会わずとも、やり取りができる。また、画面越しに様子がおかしいことが見て取れば、職員の方に連絡することができるなど、問題の早期発見にもつながる。(法人、受講者ともにメリット)
- ・ ある程度慣れれば、オンラインでの開催も視野に入れることができ、問題のコロナ化での安全対策についての解決につながる。

一緒に話そう！～求められる心と考え方～

内容

- ・ 概要...障がい者がどんなことをしてほしいのか、その時にする仕草、行動を学び、福祉の視点からの接し方を学ぶ。
- ・ 主な対象者...特に制限はなし
- ・ 講座内容の例...障がい者との適切な接し方の例、障がい者のやろうとしていることを手伝う際の注意点、心掛ける点の説明
- ・ 講師をお願いしたい職業...介護士の方

メリット

- ・ ショートステイやデイサービスの利用者など、常に介護職員が見ていられるわけではない利用者のために、家族や周りの方に何ができるかを理解してもらえる。(法人のメリット)
- ・ 家にいることを願っている障がい者の方にために、なにができるか、どんな対応をすることができるかを知ることができる。(受講者のメリット)

おいしい！ヘルシー！たのしー！地域お料理教室

内容

- ・ 概要...コレステロール・中性脂肪・血糖値など健康を気になる方を対象に健康的なレシピを紹介し、栄養士の方と一緒に作ります。また、食事について気になることがあれば相談の時間を設ける。
- ・ 主な対象者...制限なし
- ・ 講座内容の例...栄養士の方をお招きし、健康料理を指導してもらい、ご自身の健康状態を伝え、これからの食事のアドバイスをもらう、作った料理がお持ち帰りすることもできる。
- ・ 講師をお願いしたい職業...特別養護老人ホームで働く栄養士の方

メリット

- ・ 実際に健康的な料理を作ることにより、健康の意識を作ることができる。
(受講者のメリット)
- ・ 入居者本人が施設内外での食事にも気を配ることができるようになり、健康状態がよくなる。また、施設の栄養士にとっては、入居者が健康の意識を持ってもらえるため偏食などを減らせる。
(法人のメリット)

機関報告会を終えて

機関報告会では専門の方からの視点で様々な助言をいただくことができた

- ・ コロナの安全対策はオンライン会議だけではない。DVDなどを配っての講座の開催でも安全対策になる。
- ・ 現在参加していない法人に参加を促すのであれば、様々な法人の合併したプログラム、専門職としての講座を行ってもよい。
- ・ 合理的配慮(この場合は直接的な表現を控える、全員にわかりやすい)を持ったタイトル、内容にすることが大事。
- ・ 高齢者関係の法人は、QOLの向上に重きを置いているため、その中で参加してもらえそうな講座にすることも必要。

このような助言をいただいた。これらの観点を踏まえ、これからの学習に活かしていきたい。

まとめ

- ・参加している法人が少ない

新たな講座を開講し、その担当をまだ参加していない法人に
願います。了承が得られれば解決できる。

- ・保育関係の講座がない

他の講座に受講者として参加してもらおう、もしくは講師に
来てもらうのではなく、受講者が赴く形の講座ができれば解決
できる。

- ・コロナ下での安全対策が難しい

インターネットを扱う講座を開講する

講座内容をDVDにしてそれを配る

↳これらの形で解決できる

ご清聴ありがとうございました